

「おもちゃ映画ミュージアム」へ行こう

玩具映画という言葉をご存知でしょうか。手回し式のブリキ製玩具映写機で襖や壁などに映して楽しんだ家庭用映画のことで、正式には家庭映画とか家庭用活動写真と言います。

映写機は玩具ですがフィルムは劇場で上映された本物の 35mm フィルムを切り売りしたり、アニメのように独自に製作されたものもありました。時間にして 20 秒～3 分ほどのものですが日本の無声映画が殆ど失われた中であって貴重な存在となっています。

今回は、この玩具映画について述べることにいたします。実は、この分野では第一人者と言われる方がいます。それは大阪芸術大学の太田米男教授で、今回のサロンは殆どが太田先生の受け売りです。

玩具映画についての博物館ともいえる施設を太田先生が国際博物館の日である 2015 年 5 月 18 日に開館されました。それが「おもちゃ映画ミュージアム」で場所等は下記の通りですので興味のある方は一度足を運んでいただきたいものです。

おもちゃ映画ミュージアム

604-8805 京都市中京区壬生馬場町 29-1

[TEL:075-803-0033](tel:075-803-0033) FAX:075-803-0034

<http://tpyfilm-museum.jp>

開館時間:10:30～17:00

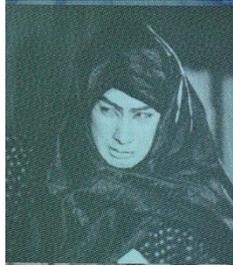
入館料:大人 500 円、中学生 300 円、小学生以下無料

休館日:毎週月、火曜日

地下鉄二条駅徒歩 8 分、阪急大宮、嵐電四条大宮徒歩 7 分

本論に入ります前に戦前の無声映画がどれくらい保存されているのでしょうか。それは 1910 年代 0.2%、20 年代 3.8%、30 年代 10.7%、40 年代 27.8%です。以前にも申し上げました通り使いまわしをされたり、廃棄されたりしたために正式の映画でもこの数字です。

玩具映画と言いますと如何にも子供向けのものという感じがしますが、実際は尾上松之助、大河内伝次郎、坂東妻三郎、市川右太衛門、片岡千恵蔵、林長二郎(長谷川一夫)、月形龍之介、沢田正二郎、マキノ雅博、酒井米子とスター揃いです。またアニメも時代を感じさせる「満州事変錦州一番乗り」や子供たちに人気のあった「のらくろ上等兵」など様々なものが遺されています。



上段左から尾上松之助、大河内伝次郎、坂東妻三郎、市川右太衛門
 中段左から林長二郎、月形龍之介、沢田正二郎、マキノ雅博
 下段左から酒井米子、満州事変錦州一番乗り、のらくろ上等兵

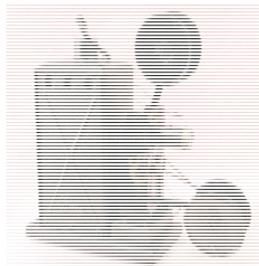
これは日本の玩具映画は時代劇スターたちの人気に乗っていたことや、規制が緩やかであったことから独自の発展を遂げることとなりました。またトーキーの登場により無声映画は価値を失ってしまい、不用品となった無声映画の剣劇シーンが 20 秒から 3 分程度の玩具映画として販売されたからです。

一方、欧米では 1920 年代までに家庭用映写機が作られますが、当時のフィルムがセルロイドであったことから、家庭用への販売が禁止されます。酢酸セルロースの安全フィルムの条件となり、劇映画の切り売りは出来なくなりました。さらに 1923 年に発表された 16mm や 9.5mm の小型映画は安全フィルムで、自ら撮影も出来るホームムービー化が進むと 35mm は急速に人気を失い 1930 年代には 35mm の玩具映画映写機は姿を消しました。

このような映画を撮影する映写機は初期にはアルコールランプ、オイルランプが光源だったために上左のように煙突がついています。しかし安定した光源ではない上に可燃性のセルロイドフィルムですから危険で上右の白熱灯タイプに代わりました。

その白熱灯タイプのものも 1920 年代をピークに 30 年代で廃れてしまいました。でも日本ではその後も下のような安価なブリキ製の映写機が販売され、メーカーによっては戦後に

も販売していたようです。



これら総てを一堂に集めているのが「おもちゃ映画ミュージアム」で、これほどのものは日本だけではなく、世界中捜しても何処にもありません。まさにこの分野の第一人者である太田先生でなければ出来なかった施設です。時は今まさに芸術の秋です。京都に観光に出かけられた折には神社仏閣だけではなく、「おもちゃ映画ミュージアム」に足を運ぶことといたしましょう。

そしてもう一つ忘れてはいけない催しがあります。それは思い出博物館の北川さんが開館30周年を記念して開花ガール展を開催されます。期間は11月23日～12月10日です。こちらもお忘れないようにしましょう。

京都嵯峨野思い出博物館

616-8426

京都市右京区嵯峨二尊院門前往生院町 6-5

075-862-0124

開館時間:11:00～17:00

入館料:大人 400 円 小中高生 200 円